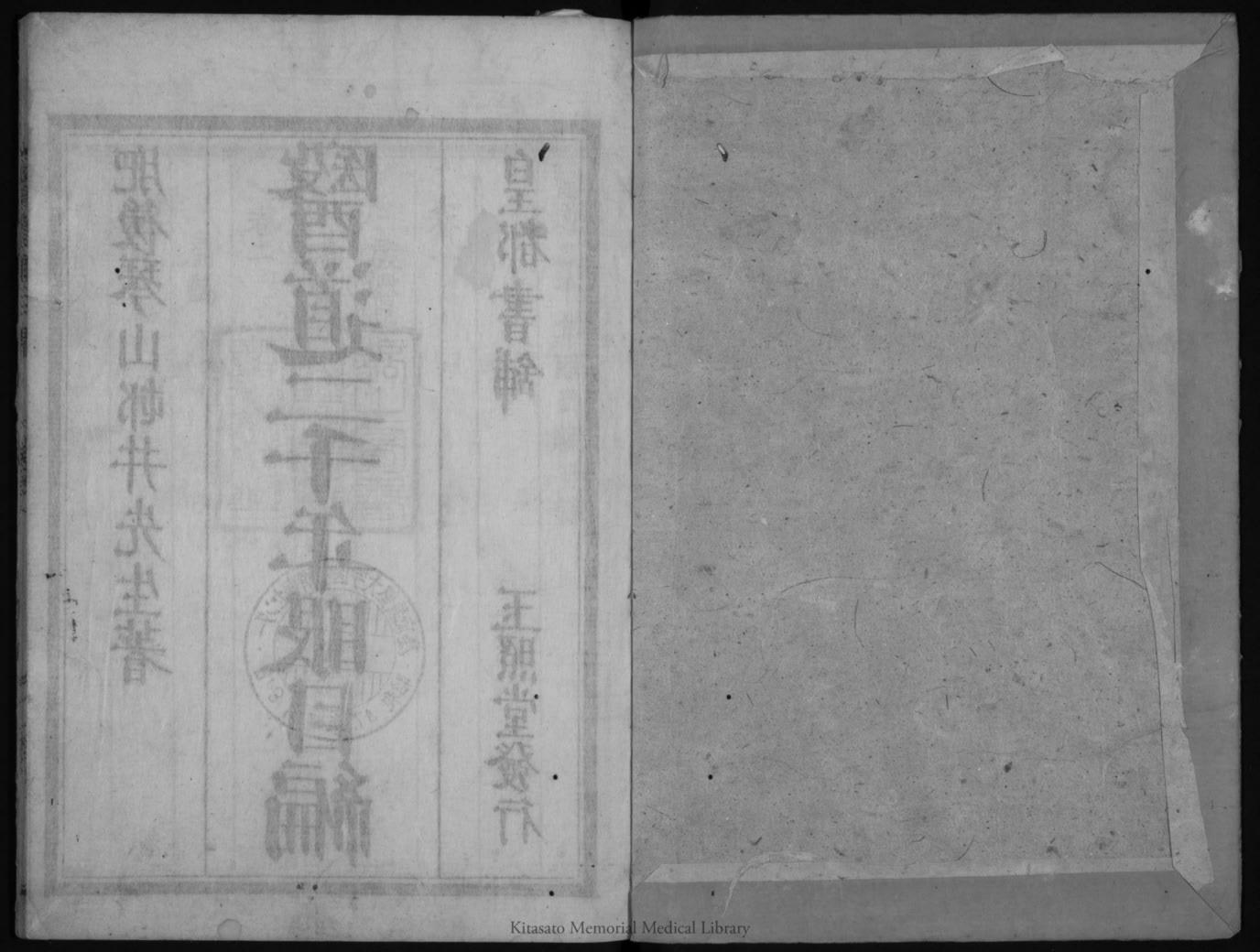


Kitasato Memorial Medical Library

F 1 1-93



7+17 \\ \frac{490.9}{12-7} \\ \No. 2013 \\ 12 \\ 10-2

醫道二千年眼目編目錄 卷二 卷三 卷一 扁鵲 殷醫 春秋醫 周醫 附考

書舖 玉照堂發行

Kitasato Memorial Medical Library

1234

																	<b>MATERIAL</b>	<b>MARKET DIS</b>	
没有 包表目 扁	卷十二	<b>支極</b>	卷十二	類聚方	卷十	張仲景	卷九	傷寒論取舍一	卷八	傷寒論取舍	卷七	傷寒雜病論	卷六	本草	卷五	素問九靈	漢醫	卷四	医直達即巨系
The state of								011	日極自然外	The second		金匱要略				3-			岩ツー
No man									•										(上金)

1	医西班里岛	11m.
	藥徵 司命	
	卷十三	
	萬病一毒	
	频聚方	
	<b>老十</b>	
	· 并	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	你寒論取合二	
	醫道二十年眼目編目錄終	
圖圖圖	醫道二千年眼目編卷之一	や、古一世、一世、大
	肥後藩疾醫	1 郭井純 著
	殷醫	元 子 田 添 安 古 支条
	尚書說命高宗命傳說四路乃	心,沃默心若樂弗與
	眩厥疾弗寒六經三醫ノ祈ラ	説ヒテソノ譬ラ取
	ルタ、此一語ョ以テ始トス	ソノ餘ハミナ醫ノ
	術ニアラズ醫ノ事ナリコレ	益殷代疾醫ノ法言
	ニンテ文服樂治病ノ通事ナ	リ病家醫人ノ差別
	ナク三代ノ時ミナ然ラズト	云フナシ又後世ノ
	受行意見 開 一次と一	101

慣 病, 毒 医道川目線 我心若服樂必腹眩極其病乃除欲出其切言以力 如 二樂劑 ラ處シ ラ與眩ト云孔安國 此一一術 フ殿西人コレラ診察 1樂毒 7 醫所 セラレズ 服樂 三過ギズ凡ツ病 + = 岐流 相 瞑眩 1 テコレニ 攻 相擊 云 老之一 アル 7 7 スルラ以 7 之 " V ナ + ヲ註 4 テツノ證ニ暗ッテコ 7 アツテ治療ラ酸人二 1 1 赤ト 治療 シテ 3 テ 1 1., 切言ラ出シテ其 純一 毒十 ラ施ス 日啓汝 7 指 二服樂治 v 於是病 為 T テ 7 X

除病故楊子方言云凡飲藥而毒東齊海出間或 樂不使人與眩 於疾忠言逆,于耳而利於行,意为以テコ 之順或謂之眩郭璞云順眩亦通語也然則樂之攻 夫藥等物有苦味之物多平哉 惑ラ太 スベン毒藥苦于口 苦中之苦非甘苦 ルフ ヲ 慣亂則其疾不得,寒愈言樂毒乃 得 ル トハ乃瞑眩 之苦也 并苦之苦上聲孔五 ニ壁ラ 7 藥孔類達疏曰若服 2 毒藥苦于 ノ義 ナリ 韻杶 口而 レラ解 得

病先使人順眩

情亂病乃得廖傳言與眩極者言問

吸引之目表引病

えい

ヲレス 書っ言ヲ取ツテ以 及自主良目而 故ニ孟子ン時 聖人ノ道ヲ說シモ 國道即日新 3 治療 其病毒ラ逐除ス 極樂乃 コー乃毒藥苦」一忠言逆耳」意ナラズヤ今此尚 云 ŧ **声**藥 y 抵當セスト云ファナン药 必 時 教 人必 7 7 瞑眩 + 7 ラ病毒ヲ逐除攻撃スルニアルノ三又他 レー槃 ナリ故 7 ヲ執 り故 7 ナシ 服 P 情島セザルモノア 樂治病 也 ル 2 慣亂 一方王病毒 ツテツ 1 二毒樂ラ服スルサハ其樂毒必病毒 = 7 1 故 L 春秋戰國ノ際トイへ ニ至ルマ、デ酸西ノ ナシ , 二趙岐を亦コレヲ註シテ云 7 老老 皆病毒 ラ以テ孟子勝ノ文公与對シ 1612 t 法則 テコレラ動フルハナ 亦高宗ッ 是天下古今醫術 ズ テ萬民 V 2 古疾醫ノ法則ナリ又聖 アル バ P 如此 ル ノ病毒ヲ除 7 人二服 傳說上說シガ如 4 ル モ抵當スルサハ ラズコ = 術 コナ 1 シ タル 必毒藥 テ + 又 七 正然 ラズ v 通事ナ 4 他ノ術 唐虞三代 3 クガ 3 調ナ い毒薬 ラ医西人 ランス 4 ゴ 12 瞑 テ 1) ル

眩樂攻 西道川目納 代 兩漢 疾以不愈也トアリ由此觀之コレラ服 子引書云若樂之攻入人服之不以順眩情亂則 カ 何ゾ ザルノ藥ハ人ノ病毒ョ除 5 y 醫術 如此 二至 疾ョ夢愈ス 7 入疾,先使,與眩愦亂乃得,寒愈孫奭疏 コレヲ説 1 गार ノ陵夷 語 -デ 7 老老 解 此 Z 聖賢 ケリ若或 12 ル ス ルモノ つ能い 7 尚 1 語 2 い順眩 古昔聖賢 ナ ズ素漢 ヲ 1 キガ 解 つ能い ス セザ ノ際 故 ル シテ順眩 ス 已 E 一唐虞 秦 ルノ樂 至至 = 云孟 明 ラ歴 + 其 ラ 三 +

事實三預ラザ 術 淳于意 ソ テ聖人 3 E テ 1 方法 亦 1 が醫術 , 0 ク餘 **严**夕 レニ從 ヲ 道益陵夷シ 傳 13 ル 61 7 1 モノ多シ實ニコレ史タ 皆當時俗開傳聞 ソノーニノ法言 = ツテ ルフアルフナシ 史筆ノ間 禮樂 とブ雨漢ノ間二至 一有 教遂二崩壞又我醫 史遷扁鹊 7 已 說 録 スル 1 ルモ 出デ " M 7 テ醤 傳 111

ガ

史記

如

+

y

ノ

7

以

テン

17

推

3

矢口

李 第

ニシテ兩漢以後

が弊風

ナリ

故

=

司馬遷

吸雪豆良日無

から

聞ノ言ヲ採 如きま > 吾今扁鹊傳 J レガ文辭 多少小司馬遷が法二則リンノ俗開 12 サハ疑ラクハ虚誕妖多 17 二於 修飾スルモ亦知ルベカラ E テ コレ ラ見 ル他 説ョ ベ 紀 傳 鸣 傳

呼 唐 後漢 7 歷 ラ趙宋 以後二千年餘 ,道學先生朱明,古文辭家 1 閒 文人 詞士 魏晉六朝 = 陪 至

ル -+ デー人ノコレ ヲ議論論定批判評駁 ス 12 モ

丰 ノ 何 ッヤ 何为二况中醫人二於七子 7 P

我

皇和 二千年ノ 決し 下二生レ二千年來ノ眼目ヲ開 へ 形亦復然川鳴呼 我ガ東洞翁

何 ゾ P 銷官ラ讀扁鹊傳ノ文 アリ 天下ノ第子

門人 כ レラ傳寫シラ藏 サッル Ŧ P ラ 2 P

レラ讀マンフ ノ士君子タル ヲ願ッハ二千年來 モノ願 クハ又コ ノ墨さ レヲ請 9 フテ ル眼 1

目ヲ開ヒテ明々察々ノ見三至ランフョ今私竊 二東洞翁 ノ意ニョッテンノ段落ラか ツテ 1

第子 門人二示 スノミ 後二說ア 1)

及的包艮目扁

古馬古人用樂之妙至矣盡矣夫樂毒於疾心即瘳 東洞翁 日尚書說命一語是疾醫言也疾醫必無

矣古今不異嗚呼至言哉余常ラ我が醫館二 在,時

古今少醫籍ョ沙雅ス ルル 了數百卷 = 下ラ ス 然

= 此尚書ノ言ラ會得シ テ彼醫説 ラ立彼醫書 7

著彼 醫方 7 製彼藥性 7 說 1 モ E 1 7

見儿 ナク一書も 7 レヲ 解 ス ル E P ル

~ 然レバ孟子以後士君子ョリ儒者醫人 = 至

デ決 3 テ 此 尚書說命人 言ラ會得ス ル。 Ŧ

ナ シ漢儒宋儒コレニ註解 ラカロ フト

J 實 ニ儒者ン解 3 得 ル所 = アラ ズ 1 レノヲ 解

得 4 ル ル デ 7 ンス テ漢晉以後 い時好 ョリ趙宋朱 時世 明 韓清

五土

1

力

一趣リ

=

從

"

テ

延年

補養ノ醫事ヲ說ク士君子儒者 1 E 世殿雪當

代 醫説ラ以ラ醫術ノ本分トオモヘリ朱子ノ

大承氣湯六君子湯少說上或 本草ノ邪説ニ惑

醫說 フテ薑通神明 取 ル 太穢惡 モノナ 1) 4 云 豈古疾醫 7 **b**" 如 キコ ノ意 レ當時 + ラ +

及自首眼目病

元二

宋朝 一代 1 大儒朱子又ラ如此 老老一 况 Y 他ノ 儒者二

序 皇和 於 1) ス ノ醫者ョ信ズルモノハ剣 テ ン尚書説命ノ一語ラ 趙註孔疏 テラヤ況 シテツノ説ヲ主張シ ラ猫且如此 7 ヤ况又我が ニ於テラヤ ヤ賎醫人 Ŧ 亦空言 如 何 二况 1 我東洞翁始メテ此言 ナ 解シ得 ソノ言ラ 如 r 外頭 ル 賤識 + + -111 於テラ 鳴 1 ソノ著述ノ書ニ ル 信仰 伎 呼 の醫者 士君子大儒 + Y ス 力 4 0 1" 二於 唱 ナ 他 "

ヘテ 以為疾醫法言也 -今コレラ 仲景之 方

スルニ 1 ノ證ニ陸ヒソノ腹ヲ候フテソンカラ

施スニソノ 術ノ肯綮ヲ得ルコアルサハソノ藥

必與眩 E ズ 4 云 フコナ i タ 1" 腹眩 1 狀 + ラ

ズ

H

2

7

ソス

テ

萬病ラ治

スルニ

1

タ得

#

ル

ŧ + ク ッノ治験 ヲ得 ザルモ ツ後 + 心嗚呼二千

年來 明清 ヲ歷今我ガ -15

27

\*

1

1

八余

多問論

皇和二至 仲景 方 二後 ル マデー人モコ ス ルモノ アハフナン然と L ラ主張レテ バ尚書 1 レヲ

吸雪道根目扁

少山

西道則目緣 說命 儒十 デー人モコ モ亦一人モコレヲ知 ンヤ宋ノ時 ノ道アルフラ知ラズコレ他 7 ルニ 開 21 P 1 3 一言二千年來士君子儒家者流 ~ 何 7 E 7)" 文唱呼東洞翁八實二二千年來ノ ド野事ラ當時ノ時流三間とラ = 當 ナリ孔安國朱熹ハ一代ン大儒 2 7 ラ ツ V 解 老老 ラ疾醫ノ道已既 此 シ得 言ヲ解 ルモ ノレ , F シ得ザルコ + ナシコレラ今 ノアハコナ シコ 陵夷 レ余が過論 アラ ス = 至八下 古疾 彼二大 ク野番者 眼目 # ラ

當テ此醫言ラ 哉 爲之解已鸣呼當時 道 語 大儒サイ 用ノ事實三施ン試三ルノ 三磨响 7 亦 ナレリン 7 スルモノナリ本來古ノ疾醫毒藥ョ 如此 以 へだ亦徒二空言スル テ ナルモノ 說命 取 レ此一言ハ醫家ノ法言ナリ高宗 " ノ醫術 テコ ノ一言二千年來遂二空言虚 十思 レラ政教受用服膺ノ事 術 = 眩惑 ルモ 7 視 1 111 v ナ 所謂不知 ラ古疾醫 ル 7 1) 可勝嘆 以テ 而

病主母 二 毒

ス

,L

7

如此

ナルコア

バ

ナリ

然三今

婚道眼目扁

シンシン

古疾醫ノ道堂々 3 ル 中華聖人 邦二湮滅 テ

二千年 1 後我

皇 和 = 起 ルモ 1 1 何 ッ P 今 我門 仲景ノ方法 7

轨 " テ萬病 7 治療シ試 ルニ " 1 證二随ツ 3

ヲ施 7 寸 1 厥疾忽疼へズト 云 7 + シコ レソ

徵 = P ラ ズ 下高宗 ラ言始 テ 1 1 ラ事實二施 3

7 ノ言益明 7 カ + 1) 鸣 呼 聖賢 ノ言ノ萬世

後 -デ > 1 教 1 + ル 「畏 12 ~ + 7 如此 嗚 呼

年ノ尚 シキ異端妖多一說我聖人 道 7

火 何 ブット斯 極二至 ルヤ 如 何 况 V 我 醫術

於 テ 7 マ鳴呼今ノ醫術ハタ、人ノ疾病ラ蔵 畜

P テ 3 11 故人一生ノ 一朝一タノ苦患 驅 ラ除 17 17 本 能

ス

=

1)

苦患

7

り盡

ス

7

11

ス " 1 2 7 服 ス 12 寸 人以

毒藥 順眩

盡 1 ス 云 M 17 能 + 191 シ 與肢 ズ コ セザルす レヲ除キ盡スつ能ハザ 7 病患疾苦除 ル 寸

愛首果目扁 首 7 出 # ズ 念之 終 二凝結壅塞 i テ生 涯 無病

ノ病毒必

身

驅

肚腹ノ

閒

一逃道窟避

i

テ急

一百ス 西道即日於 支百骸 天ノ 7 P 承 大悲歎大泣血 1) 7 12 人ラ養フ 得 = " 7 コレ + 千年来 1 r 1 7 Ŧ ル E 22 7 ノ多シ 醫 " ガ 知ラズ九家 為 ファ知 何 能ハズ或 ノ暗欲忌臭ノ ノ至リ 為 メニ苦ル ゾッレ斯 故 × T ラ = 二勝 醫書二三十年 藏畜聚積 1 ズ 或 ~ 2 四時 術 偏 ラ東 ガ × ->1 穀肉 為 二迷 ノ正氣ラ ズ 7 苔 12 ヒラ テ被 × 菜菓 二利 遂 E モ 地 二非命 コ。 技 12 惶 瘧 ヒズ ノ高宗 惑 正 1 E 食 痢 テ 四 7 7

農本草以為湯液後世醫者證 神農本草ノ書ア 寒へテ安樂ノ E 一晉皇市諡 法 八山言アル ヘテ失然 一言 11 伊尹 7 奉 二出 E 甲乙經序日 ヲ得ル 地二就 7 11" 萬世 ヲ 9 ル 見ス豈伊尹ノ時今アル所 リトス今六經子史傳記 ٦ 7 アランマ P E テ上下ツレ 伊尹 ラ 下萬民 ン噫 以亞聖之力模 ガ 湯液ノ起ル 此言 疾苦病患 快 7 ク事業 ンス テ 湯液 用 " 忽 存 示申 7

P

12

モ

亦

豊

7

書

アラン

P

岩

"

書存ス

ル

西道則目然 跡 數卷用之多驗 ド諸書ノ引證 湯液八伊尹二出デ 二年此言ョ引 涉儿 謐 アラ P ガ 云 ル 書ラ著 十二 7 バ 多シ 必 ナ 1 盖 别 + P 3 E ス E = コ 7 1) 1 本草ノ書傳 ル 1] テ 知 俗 謂 地理 所 ルベ 夕 1 1 へリ 間 1) アレバ後世醫家傳へテ以 -ラ見ル 傳聞 ヲ説 シ宋ノ林億 グ 1 其全書 漢張仲景廣湯液為十 ス皇甫鑑賞ラ帝王 ニソ 3 12 1 呼 言 7 ヲ = T 見 言 出 が傷寒論亭 F 1 ~ ズ テ = " ッ V 1 思 1 1 證 世 誕 7

題 深六朝 俗閒 ルフ 明 t 12 ザレバ道士 ハ人ァ 所ナレバ虚誕ニ渉ル 方 ヺ 實錄 餘孽二 傳 尚美真儒 事實現然タル 聞 3 ノ説ヲ舉ゲ 1) 1) ノ書:比 李唐 1 T イへ 1 ラ 三至 ザ 祈 析 1 E' ス 三慈 明 7 謐 テ ルマ 了 亦葛洪皇市謐 1 + 1) ガ 21 + 以テコ ノ言ナシソ デ ラ 此 時 ザ 3 誠 書 7" 聖人人大道陵夷又 人一大抵 12 モノ鮮シ當時 天下一士佛一传 -ラ著 一十 7 陶弘景孫思 シテ 記 1 餘 録 " 3 以 " 3 後 テ = 1 高 陪 矢口

製り編

一大学

医 道肌目 無 字靄 訓等 安 八九滥 舉ゲテ以テコ 定説トナ 說 ルニ尚書作湯誓作湯語ノ文丁 リ人民 見 コレ怪誕妖安ノ言ニ ヲ ヲ生 諸家 識が言ノ E 皇市 諡 觀 三皇五帝 テ 7 談談 ルベシ沢 取 伊 1) ムノ ガ ,教 文 尹 が、伊尹 テ ッテル 2 ノーナラ 奇 爲 或い液ノ字トナルコ 歷史 世 しり鳴呼以言不舉人以人不廢言ト 下川當時伊尹盖作湯某篇 異 紀 ノ名 マ帝王世 ガ博ラ讀ンデ 湯 トナラザ 如 為湯液 クナ ヲ舉 テ 7 1 L 徵 一もべ ザ 註 說 ヲ見ル 1 h 字 + 7 ラ ク ス 縱 ,1 十云王 紀 取 T トバナ 2 セ ス + -T # E ッ事 ル 7 ラ テ聖人ノ語 Y E 大氏 得 3 7 ル 諡喜ンデ 作 1 多 陷孫二子二 ") 1) 1 ヲ + 1 > 1 見 川伊尹 事 言 3 ヤ桃 或 ナン遂三百世 ソノ人 見上 ラ P E 7 亦 ア ラ ル 1 - 皆 ナラ 爲 ン後世謬論 1 **手ム** 謐 セザ ラレン 7 ル ヲ 7 竊 見 7 E ガ R E L 五 世 字 至 12 以 + 怪 ル所 母 テ == ル 7 某 作 テ 誕 3 紀 言 帝 1) 9 五帝 妆 ハろ = 或 後 妖 伊、 7 7

言惟 本草 医通道 則目 絲 史 7 十二名,人後世 書孟子略 いく 知 湯液 然 ラ 作 3 **醪**禮 コナシ司馬遷が如 事ョ テ 外 記 1) ザ ル或 五是 ラ 唯 L 监 スト 字十 ノ書 醫書多ク湯液 扁 殿西書 素 伊 7 ノ文字を經史 1 12 が説 記ス 台ア コ 知 尹 八俗傳安談 Ŧ 為湯 リ女 傳 1 干 P 編 1 コレラ載 L コレラ附 ソノ外 1) 所 三 1 1) + = 問 ラ 出 謂實難據信也 中 + 安誕僧 二至 鳩 液 或 > 老之一 푫 > 內 2 ラ帝王 が説 女房 今殿西家ノ主張 經史關 久說 子 3 " 經史 + スト 1 9 = 二字》連用 テ 見 が 1 Ŧ ラ伊尹 A -閒 1 二篇 辭 明者ノ考ラ供 イン イへ 世 亦 + 明文 ル ョソノ箱 6 1 ラ 紀 所 湯液ノ 此二書-ヲ載 L 4 ノ事 然 3 1 伊尹ノ事い H ナキ 17 T 中二載 亦别二明徵 力 玩店 如 ス云上古 見 しい 1) 其徵 寸 文 7 ス シラ煎煮 1 12 三 = 区 做 + 據ッテ伊 12 4 名 T 所 ソス 1 説 "EE 1) + 恐 E. " テ ス 1) ノミ但 テ博 之時有 + 9 ル 况 恐 ナル テ湯液 3 E" ル 又 い尚 医西書 1 7 Y 7 r 湯 ラ 藥 此 ル X 7 尹 11

· 吸過過長月編 一添之 〇十四		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		THE RESIDENCE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO ISSUES OF THE PERSON NAMED IN	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			ーナッ	二八湯液醪體上云上扁鹊傳二八湯液體釀上	必湯液醪醴ラ作リテコレラ治スルナラン素	ルノ理アランヤ豈又九散ノミコレヲ服セン	スル醫藥二州木土石ヲ並セ嚼ンデコレヲ服	湯液ラ作ルニアラズソレ上古神農ノ時病ラ	ニモ湯液ノ事アリス山文ニョレバ伊尹初メ	指シテコレラ云へり扁鵲傳ノ文ニョレが上古	液湯火齊ト云文アリコレ皆煎湯煮湯、藥汁ラ	愈跗治病不以湯液醴釀ノ文アリ倉公傳三為之	医西道則目船    老之一 (一十三
					E		139.3			云	素問	ンヤ	力又	治治	ラ	古	13	之方	

														1					
改和 是 日 三冊	レヲ徴スベキ	唯一二章 過	ナシ扁鵲が傳	陽ヲ以テ醫事	ノ言徴トスル	和醫緩扁鵲ガ	ト1へドソノ	周八代八百年	周醫	一十巻旅機関	學養養剛門力	312		湯が	一 湯、液が毒		被然 外 席, 十 云		医西道則巨系
122	モノアルフ少	ギズ然しだり	二於ヒテックな	ヲ説ク故ニ治力	モノアルフナ	コトラ載スレ	治術見心所力	ノ間ノ醫事六日	大学 大 八 丁 五			では大大人は			7日义 及大	るのでは、他の		が機能にある	看之一
うトを	シ周官五醫ノ職ヲ	ノ方法二於ヒテコ	語ノ取ルベキモ	療ニ沙ル者アルコ	シ和緩ガ言タが陰	ド亦治術=略スソ	シタ、左傳史記醫	經で、コレラ載ス	フラリーはアナー		治の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の		19年		日本各种學科等		用湯湯湯ノ発汗		( + B

官多 漢 鳴 瘍 呼 周 皇 立 醫術 聖人 二職 呼 J " 際 末年 食 殿西獸殿西我 疾殿四, 聖人 1 ノ道 ヲ ヲ 4) = 陵夷 存シ 存ス , 至 E 道 人 至 " 1 テコ 1 " テ ス 7 ヲ ル H 傳敘 害 テ 1 陰陽 聖人 爲 2 F ス ヲ焼 存っ H" シテ方法 禮樂 職 混 亦申 1 1 1 亂 力 1山 コ ヹ 黄老 預 方 ノ道 E R 法 然 治 1 ラ 3 所 見 1 行 1) 1) P 共 學盛 ナッシ 1 甚 ル ル 7 所 遺 1 = ル シーキ 丛 3 + = + ス ブ E 况 秦 鳴 史 兩 +

が説 以共醫事東洞翁日醫樂皆毒 テ見ツ カ ス ス J 3 ノレ - 毒與樂二物 周官疾醫 1 7 ~ 難 我, 我東洞 醫術 少夫醫師衆醫之長掌醫之政令聚毒藥 E" 3 二十年来 4) 翁 ノ文辭錯 職 櫩 從 也 7 " ラ以テ古首殿事ノ大體 レヲ テ P 雜 ム 分 ブ シ Ŧ 产是、口 辨 以兹可見宋儒 テ古疾器 ル J 所 ス 1 1 7 JE. 1 替 說 古 術 1) ス 後 P 7 T 鄭 分 取 1) ラ存 鸳 竊 +

足

ラ

ズ

毒樂

物

タル

别

=

說

P

1)

3

1

=

贅

P

》 一大小

目編

之, 翻殺 相應 ザ 攻 カ ノレ ラズ 7 之 1) 0 之齊 レ内證 然 1 E 內 ナシ故 " 1 レド瘍殿西ノ と各コレョ専修 祝樂 -ソノ術 3 外候 11 相應 ヲ以テ遂ニコ 劀殺 ~) 各異 , モト ズ ル 職 治 之齊ラ , ナリ灸 7 タル 一毒二歸 得 祈 E 云 ル ヲ F 者 ザ レラージニスル 施 炳 フ 1 湯液 疾醫ノ ス 五藥療之一 L ス 7 ラン " 1 7 能 y 1 1 類 命 P 11 祈 E ズ 夫 7 祝 內 同 五毒 受 樂 治台 至 到、 ス

醫 歲終則替其醫事 1 " 7 テ 失 云っ周官 Ł 掌ル = 難 機入 我東洞翁 二次之十失三 至 = " 縱令聖人 所 テ h 11 1 ラ云フ五味節之ト 欄 1) 9 7 難 ンノ -コ 次之 制其 レヲ 3 1 2 7 作 錄 コレ蓝 ノ官ト 疑 食十全為 十失四為下 トイ R フ恐り ス・ **殿**西人 職 7 千年來 八食醫, 1 1 各職 上 ハ聖人ノ ヲ序 F 數千年 洲 + 一章 失一 ·j 必 方法治 異說 有其録 作 次之 閘 =

股百首根目扁

たと

テ

古

註家

得

テ

窺

K

解

ス

ル

所

=

P

ラ

ズ

獨

聲ヲ 體 治 ルモ 宋一程順曰十全非謂十人皆愈但 一於 ツッ病 證治分 火 7 1 生ス バ醫ノ疾病 得 以テッノ火生ヲ既 E + ラ養治スル テ ル ラ ,說 明 7 1) 十人皆中即為上 州 7 P 治術 1 如此 2 ヲ イ 7 コレ 治 醫人 = 至 ~ 知 熟 E ス 1 7" 九五穀五味五藥ョ以 フノ 亦全 ルコレン R 3 ル 殿西人 術ナリ五氣五色五 况 2 " 1 2 7 テハ十全 P ノ治術 1) 三至 知可治與不 疾病 力 ラズ J ." , テハ人 フ 治 如 郭 不 功堂 何 治 可 テ R

醫 歲終則替其醫事以制其食十全為上十失一次之 彷 ツテ我東洞翁獨 十失二次之十失三 ラ云フ周官ハタベソノ官ト職トラ序が方法治 「上難シ縱令聖人」作トイフトモ數千年」間 二八機入八カリ難ショレ益二千年來ノ異說 学 三至 " ル所 ラハ ラ云フ五味節之ト八食醫、業 コレラ録セズ醫人各職必有其録 9 次之十失四為下此一章三至 レヲ疑フ恐クハ聖人ノ作ト

シテ

古今

註家ノ得ラ窺

E

解

スル所

ニアラズ

獨

於聖智·嗣 河 編

一次多!

子一十一

體 難 聲ョ 宋 ラ 生有命 治 ソノ I ラ ノ疾醫職ノ事ニアラザルベシ翁日 ル + 證治 ズ ヲ 於 ス 火生 モノ 7 程順 バ醫ノ疾病 以テフノ火生ヲ低ルコレツノ 得 病ラ養治スル 1 1 トセ ٢ 分 力 云 + スラ ル テラ + ノ説 り今 明 1) 曰十全非謂十人皆愈但 7 ンヤ 1) +, P 1 9 J 9 此 雖然 程氏 如此 人皆中即為上 1 治術 12 -4 ヲ 7 t 11 7 扁鵲 コレ 聖人 知 が説 ンス ク熟 治 醫人 至 コレ E テ ス ルベ 疑り 見 フノ ル -モ火 ノ意 亦 R 3 シ光マ 五穀五味五藥ョ以 全 ル殿西人三至 211 術 1 严 7 八聖人 セル人 " 21" 失生 テハ 7 アラ ナリ = 鄭玄 カラズ 1) 知可治與不可 疾病 制裁 治術 ニテ 7 ズ用 ラ生 聖門 五氣五色五 ガ 全 .7 註二 フノ テハ 上 治不治 ス 如 1 I 熟 何 F -中 全 P テ

ial Medical Library

+

十治

ス

べ

力

ラ

H"

ノレ

十家記診錄

二載

E

テ數

百

ョ治

ス

12

1

醫術

證治分

明

+

1

E

是是

で変え

11

愈

ナリトア

1)

數十人

ノ病人ヲ治シテ

治

ス

歳終 医再達明日納 疑 カッ 十人ア 1 7 V 政 目 ス 路道眼羽編 ラ 十全一 E ン十全 ラ全愈 謂 疾醫 1) 又王 周公 以 IL T 7 殿質 盖 テ 承 疾病 開 則替其殿事以 1 1) E ナラ 毁 卽 醫家素問上功十全九一註 当 命盡 后 功 1 コレ " クト 1 7 7 醫 フ 擇 P 太子 7 2 上 ار テ P 它 ス 皆ツ ラ萬 奏 治 然 F ラ 云フベ 5 1 -7 12 7 デ 攝 ル ザ 卿 ٢ ス = セ 2 七 1 E ル テ 謂 1 大夫 コ 民 2 + 11" 12 悉之 ス ラ今コレ ~ 東洞 1余管疑周官 1 治ヲ得 上ノ人ヲ治 制其食 ノア 十全二三以 キカ 1 E 4 7 ル + 意 ヲ治 士 疾病ラ養 2 時三當 ル 然上光 余又 ラ ナラ 寸 翁 1) ノ疾病 セシ テコレ 1 P 按 ン豊十人、 說 4 1) 云文 7 ヲ 左= テ殿 4 t F 世 ズ E ソ 11 7 1 失 ヲ 12 亦 7 以、此章ョ 1 ルニ周代 -7 鋄 解 愈 1 註 解 ラ + 內老終 師 4 1 取 2 セ 1) 年来 全愈 1 ラ 7 ル 12 " = ス P i 職 必 テ ス 12 7 1 ル テ 強解 ズ 至 治 中 年 7 F コ ンス ス 其 設 テ 7 12 F L セ

診籍等部 医西道即日然 為後治 当 論 此観之凡民之有疾病者分而治之失於則 公ノ政 冬時夕、咳逆喘 リ夏時 所以而入一天醫師 又按グルニ バ治之愈者ハ 路影眼引編 モノラ賞シテルキモノ ョ土芥 ノ又幾百人ト コ ノナランソレ四時属疾アルハコ ナリ然ルニ今 3 ンス下 + ン老少 1 ヲ殺酉 + 之 = 比 此 タバ痒新り ノ病状 ラン 數證 戒 史" 師 ス 二入 ノ失終 四時皆有厲疾是本文十ラン春時 7 E 病名八二十少註文 云 ノニ 倉公公 7 云 ル כ = フ 1 7 ノニ 儿 悉之一 レ翁 者 P 37 11 傳が 、二春時 3 コレ本文ナラン如 T 三ア 治 P ラ ヲ 干 1) 21 ノ疏 ラ 之不愈者 又 ベヤ 知 ノ機入ヲ疑 -八制セザルモノナリ余 ランマ級今六属作見 內= コ レヲ 甚 り秋時 + ル 7 = 出 醫師得以 3 出ッ 3 ラ コ 、病 醫師二入 力 E グ診 1 ラ 力 3 レ古今 ノ誤入 愈ル コ DET. 、雅 + べ 狀 フ 1 +頭 コ 制其禄 所 所謂案 何 7 7 コ 錄 各書其 + 痛 五行 トア 1 レ豊周 レ萬民 ル ス 1) ル 且 由 1) 五 P 3 モ

虫虫石 出号 事 **岛** 医西道則日 扁鹊 病毒 値ッテコレラ 藏分配應相生 病是乃素問 五 7 劇易淺沒 1) 誤入 ラ i 果為克五菜為益 川皆是後 1 コ 施 ア 1 此 ン人 ラ擇一デ五穀 宜シ ノ著ク所 按 1) スノ 皆 時 所 + テ 素問ノ語却ラ周禮 ス モ 九竅 謂 IL + 二當 7 時 亦 病 2 世 二所 7 午 三 ナル 治 理 應見於大表下 此條八病人 ラ診察 醫 矢口 克川 ッフ ノ愛九蔵ノ動 ノ東易 ル 和 -1) テ スル 家ノ 謂毒藥攻 悉之 アランヤ = カ 外 フノ火生 テコ カ コレナ 7 3 故 スレバ 常 1 ソス 2 ノ氣聲ト色 ラ = テコ ミソ ズ 說 テ 2 西蓝 萬談 1) 邪五 穀為養五畜 以五味 コ 酒 ヨリ ヲ養 7 腹 レド J 上五 氣五聲五色 治療 鄭玄 飴 2 ル レラ町 7 ヲ按 ガ 12 Ŧ 二屬 蜜薑鹽 治 1 肋 說 7 古二 五穀 註二養摘治 7 = E 二於 三見 ケ 7 テ湯液 7 1 ス 變 テ ル 察 + 近 キ 作 1 五樂養其 ルコ フノ主母 ٢ 二足 1) 7 ス ル 味 7 目氏= 交益 此 為助 註 = 鍼 ヲ五 似

處ルす 医通道則目線 點質嚴別編 事立法便人者有矣未有立法以體人者也強以體 久此远儒之所以亂天下也以上,諸說二日 林孝先が統二至ツラハ謂瀆副不驗之書然上 周 半故顏師古日或謂劉歆附益以佐王奉者也強輕 九一竅 凡周禮之說異遠於人情者不足信也古之聖人因 山醫師疾醫 二職 ナシ是惟 ベシ E 7 12 L 1) 秦漢諸儒以意損益之者衆矣非周公之完書也 九竅 リ是益 z モ 鼻 是 致太 ヲ觀 バラク醫家ノ言ラ取 變モトョ + ノ名始 1 ヲ古言ニ賞 處 掲載ノ變アリ目ニ虚ルナ 平之迹 王莽王安石 ソノ ラン バ十全九全ノ説モ亦立法題人 ル すハ 理 况 X 1) テコ 参之一 トイ ヲ診 P 鼽室 今, 3 3 L ガス クノ三周官ノ職 如 テコレラ ~ 任後世諸儒信者 半疑者 周禮 ノ變アリ 二 キモ亦機入アルコ ヲ診察ス 出が醫り 12 ツテルテ 所 + 矢口 云書八劉歆 1 4 ~ D ラーラ 「「本」) 一處 病 1 シフレ耳 シ雑報 1 職盲ノ變 ラ治ス 余 ~ ヲ殺 又按 ルネハ 7 沙川 ツテ 午 說 稱為 E 儿 ス

医世江川上系 带下 殿題題眼羽編 バ廖ルノ北アルフナシ是コレラ兩參ニスル 著の處八九藏 殺 テ 候ラ診察シテッノ證ニ遊ツテコレ 異ナル 又男子 17 牙齒喉舌」思アリニ陰三至ッテハ寿林ノ後ア P ル スベシタ、陰挺出シ子宫出ッ 腹候ラ主トスルすい其證二随ツテコレラ治 治療ノ手段同シカラズ九藏ノ動 コレ カ テハ九竅 ハ或 刺劑 教 コ 1 コレハ惟男子二就 所 證 し周官以来醫家ノ言が 上皆注著ノ法二從フ男子 ハ坐樂アリ或 十異ナルフナシ産門ノ愛三至ツーテル コ = /E + 因 アリ生産 ナ九家シノ應アツテ見 L " リ所謂三十六病ノ變を亦 ニアラズンテ十一家十川尿道ノ變ハ ラ瘍醫ニ テ周官九竅ノ變ノ足 から位 悉之一 シ綾ア ハ納方アリ経水 取 + 1) ヒテコレラ言婦人三至 ル トイへ リ職爆 腹 候 ルガ如 ル所 コレナ ア E N年(一) 1) ラ治 ラ ナリ今東洞 病 = ル夫注著副 7 陰吹 ザ 因ツ 1) / 綾ア 十二至 7 1 1 病毒 大 セザ 12 所ラ E 腹 所 在 =

殿道泉山編 陽醫ノ 医直通即目線 氏統太子ノ病ノ如 III ノ愈ルフラ知ルコレ生以眠ルベシ然リト 云證アリ然レバフノ餘 論 補フ豈二千年來ノ眼目ヲ開クニアラズヤ ラズ ス 1 七古今殿門人 シラ聲氣色ノ大表二見 虢 已 + 此時號豈疾醫 醫ノ火生ヲ既ルト云 ナカランヤ シ易證 劇證 由此観之失生以テ既ルベシ又既ガタ = 集 モ ソレ小國 三醫事ラ書一テ後 故五味五穀及五藥ョ以 リテコ = 失不治十云上又失又十 ナレバ危篤 ナ = シテ手 レバ脈 1 三ナ t レラ治セザ コ 一派が + 上盖國中ノ野皆コレラ診治シ イ 7 平 カランヤ然リトイへだ惟答 キハ舉朝既二以テ大セ ラ へ氏豊官醫ノ殿西事ラ当手 = 更为 コレ ズ諸人 至 ラカ 說始 へ人ラ代へラ國中 ジ證 ル ルニ臨 ニッ ラ失セリトスルナ ルノ事ナカラン テフノ病毒ヲ治療 ハ × F 惑 云 = ラ周官ニ 證退 ナ生ル デ %一一十九月 フ t ヲ診察既候 或 所 7 1 出ッコ キー 不 1) 灰 1) イへ 傷寒 ル 7 證 眩 治 殿西 P ラ E 7

医道則E 新 テ而後太子既二失セリトスコレ世醫ノヨシ人 老老

越人コレラ診スル ノ失ラ既ルト云 モ ニ及ンデ ノハイヘルコトナリ然 唯フ 1 證 = 隨 " ヲ テ

フノ 鍼石湯液 ヲ 施 ス於是太子ノ戸歌忽 チ常

復ス然レバ失セリト云フ證モ亦生ケルニアラ ベ 中故東洞翁日古首越人過就太子暴愛而失了

カ ル二越人療治シテ無しり故二天下ノ人稱美

ラ越人為能生火人下云之然し形越人、受 ス

シテ云フ越人非能生失 人也此 自當生者越人能

使之起耳 トイ へり又欠セザ ルモ ヲ 以ラ史

リトスルアリ東洞翁又曰二千餘年コノカ ズ

夕

天疾醫ノ道 ラ行フモノナシ専ラ生失ラ論

ガ し、任實二生失ヲ知ラホル證據ニハ史記太倉公 傳二 Ŧ 齊王問太倉公診病决火生能全無失乎

臣意對日意治病人必先切其脈乃治之敗逆者不

時失之臣意不能全也下了以其能知八下云太倉 可治其順者乃治之心不精脈所期失生視可治時

一段的鱼型型 公が論 テモ盡 | (松) クア 夕 ラズ 1 P II 11八十十 川 以上 9

rial Medical Library

條

X

抵其失生するフ 7 治療一用三立夕

ランス 7 テ ル

7 和 ベン越人が 殿西 タル Y 央 セ ル ヲ生

力 ス = アラズ フ ノ生クベキモ ノヲ生 D ス太倉

切脈决处生下 云故 二敗逆シラ失證 卜見

4 ハコレラ治セズフノ上コレラ次スルコ時 ムト

1 1

ラ失フす 1 死生ヲヨク見ラ治療ノ用ニ立

4 ズ 生 ‡ 12 ŧ ノラ誤 -リ失 シテコレヲ失 ス

N' コ 失 ス べ カラズ = ラ 1 L 夾 ス ル ナ 1) 豈

医西 タ

ار E 17, ナラン V 然 死生 3

E

尹是トス二千年来此

灰生

ラ决

ス

言

惑ッテ醫ラスル ノ人々コレニョラザルハ

7 3 り道家長生久視ノ法方醫家二混淆シ

テ 7 流 二漂 ハザ ル モノ ナシ然ルニ我が東洞

天作之醫馬能失生之哉又 翁獨奮然 夾生者命也自天作之其唯自 日盗灰生、者醫之所不

1

テロ

與也疾病者醫之所當治也 コレ二千年來 眼目

# ヲ 開 12 クモ E ナリ ナリ 又 如何 コ ヲ疑 E フモ ス + + コ 一件景 7 知

受的自己良

三冊

(Nan)

THE REAL PROPERTY.	3		1			_			-
醫	德	13	1	論	来	琐	1	1	医
道	6	2	6	指	作	T. OF	關	方	医直迁耳
=	-5-	4	V	主	33,	寒	2	法	力 日
千	疆	E	流	换	響	高	35	7	THE SECOND
年	专	(1)	=		語	告	N	廖	刘
眼	×	1	溧	1	A STA	安斯	+	ナブ	3/19
目	46	影	a	专	換	3	(6.45)	7	
編	3	悉	1	CH	让主	福		三	415
卷	6	12	-44	5%	75		4.	+	包
之	火	久	3	達	选	100	9	年	7
1	1	源	N.	老	. 76	小	频	=	
終	2	4	+	命	垣	E	5	2	
老	-5	来	4.	4	器	U	EF-	テ	
	22	-5	3500	1-12	5	=	13	而	
36	. 20	響	Salar .	郑	步	并	0	後	1
7	F	景	186	郭海	一带	华	-	2	Til.
7	1	100	SALES I	20	20	寒	4	L	7
1	4	135	1	176		1	196	7	H
1		BY-	果	319	PI	AR I	出意	知	M
0	The Company of the Co		TO A STATE OF THE				181	ラ	
	R	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終	編卷之一終

